

令和5年度 藤沢工科高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上(公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む)	公務員、特に教職公務員としての行動を自覚する。	倫理意識や法令遵守の意識を高く維持するため、不祥事防止研修、及び経験の浅い若手職員、臨時的任用職員への個人面談等を通じた指導、また意識向上に向けた標語の作成などを実施した結果、本校における公務外非行の発生は無かった。
職場のハラスメント行為の防止	わいせつ・セクハラ・パワハラ行為を防止する。	職員相互に人権を尊重し、働きやすい職場づくりに向け意識を高める働きかけを行った。課題となる案件に対しては、個別の面談や指導を行うとともに、関係する校外の部署とも連携し、改善に向けた対応を進めた。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	生徒に対するわいせつ・セクハラ行為を防止する。	生徒の人権を尊重する意識の定着を図る投げかけを引き続き実施するとともに、不適切な関係が生じるきっかけとなりうる、SNSの誤った使用をさせないための指導の徹底を行うとともに、職員との面談の際にも確認を行うなどして、全体の高い意識を維持することができた。
体罰、不適切な対応・指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰、不適切な対応・指導の発生を防止する。	体罰・不適切指導に関しては、絶対に許されない行為である事について研修などを通して全体に周知することで、問題となる不適切な指導の発生を抑制することができた。
入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜業務に係る事故不祥事の発生を未然に防止する。	それぞれの業務について入念に検討を行い、事故の発生を未然に防ぐ仕組みづくりを進めるとともに、事故防止に向けたポイントを確認するための啓発資料や、全体研修を通して共通理解を図ることで、支障なく業務を終えることができた。
成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	定期試験、成績処理、調査書等の文書作成での事故を未然に防止する。	正確な処理を行うための留意点をまとめた「教務通信」を学期ごとに配付するなどし、職員全体で共通理解を図るとともに、職員全体による一斉点検を実施することで、事故に繋がるような不適切な処理の発生を防止することができた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策(パスワードの設定、誤廃棄防止)	個人情報の流失や誤廃棄を未然に防止する。	個人情報の管理を適切に行うよう、重要文書の取り扱いなどに関するパスワードの設定などを引き続き徹底した。また誤廃棄防止の取組として、定期試験期間のシュレッダーの使用停止、未返却答案用紙の保管を個人ではなく専用のロッカーで一括して行うなど、「うっかりミス」の発生を防止する対応を行った。

交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故や酒酔い、酒気帯び運転を防止する。	不祥事防止啓発資料などを活用して全体に働きかけることにより、交通法規の遵守に対する高い意識を維持し、飲酒運転などの重大な違反行為や職員の過失による交通事故の発生を防止できた。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	不適切な業務執行を防止する。	業務執行にあたり、各職員が報告、連絡、相談に努めて担当間で情報を共有することで、適切な管理体制及びチェック体制のもと、業務の執行をすることができた。
会計事務等の適正執行	適正な私費徴収・執行を行う。	適正な会計業務の遂行のため、私費会計基準及び監査での指導に従った処理に努めたほか、常に複数の目による確認体制で処理を行った。その中で訂正の必要が生じた処理があった場合には、不適正な処理とならないよう関係職員で情報を共有し、適切に対処することができた。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題
（学校長意見）

不祥事を起こさないという強い決意のもと設定した目標の達成に向け、職場全体への研修や各担当等に対する指導、またマニュアルや作業手順の順守と更なる改善に向けた検討を行うことで、令和5年度も本校における不祥事の発生を抑えることができた。

令和6年度は、引き続き法令順守と人権尊重に対する高い意識を維持するための取組を進める。また、ICT利活用教育の推進に向けた生徒一人一台端末の活用が更に進むため、デジタル情報の管理やSNSの適正な運用について、これまで以上にしっかりと対策を検討することが肝要である。関係する事項の点検や対策の強化のほか、他の課題についてもより効果的なものとするための改善に引き続き取り組み、本校における不祥事ゼロを継続する。また他者との協働における業務遂行を円滑に行うために、他者を尊重する人権意識をこれまで以上に職員全体で高めていきたい。